慣用句(上級)大きな文字プリント1

配布番号

問1 足が痛む祖母に（　）を貸して、駅まで歩いた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 腰
2. 肩
3. 足
4. 鼻

問2 苦しい言い訳を並べて（　）口上を述べる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 切り
2. 逃げ
3. 前
4. 披露

問3 「二の舞を演じる」の意味はどれですか？

1. 他人の真似をして滑稽な振る舞いをする
2. 前任者や他人の失敗と同じ失敗を繰り返す
3. 一度成功したことをもう一度再現する
4. 舞台で二番目の出し物を披露する

問4 「筆が立つ」の意味はどれですか？

1. 文章を書く能力が優れている
2. 筆を立てて置くことができる
3. 書道の腕前が非常に高い
4. 文章を書くのが非常に遅い

問5 「息が詰まる」の意味はどれですか？

1. 驚きのあまり、声を出そうとして喉が詰まる
2. 緊張や重苦しい雰囲気で、心理的に圧迫感を感じる
3. 長い時間じっとしていて、体がこりかたまってしまう
4. 仕事が終わって、ほっと安心して気持ちが軽くなる

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント2

配布番号

問1　「尻切れとんぼ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 尻切れとんぼの虫が庭を飛んでいる。
2. 尻切れとんぼの糸をハサミで切った。
3. 議論が尻切れとんぼのまま解散してしまった。
4. 彼は尻切れとんぼな性格で、いつも最後までやり遂げる。

問2　「面目を施す」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は面目を施すために、厚い化粧で顔を隠した。
2. 失敗ばかり重ねてしまい、面目を施す機会を逃した。
3. 面目を施すほど、彼は周囲から厳しく批判された。
4. プロジェクトを成功させ、彼はようやく面目を施した。

問3　「影を落とす」の意味はどれですか？

1. 過去の栄光を思い出して懐かしむこと
2. ある事柄が後まで悪い影響を及ぼすこと
3. 他人の成功を妬んで邪魔をすること
4. 自分の存在を隠して目立たなくすること

問4　「気が咎める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は気が咎める性格なので、すぐに怒り出す。
2. 友人に嘘をついてしまい、どうにも気が咎める。
3. 気が咎めるほど、彼は熱心に仕事に取り組んだ。
4. 試験で気が咎めたので、良い点数を取ることができた。

問5　「水を打ったよう」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 庭に水を打ったようで、とても涼しい気分だ。
2. 突然の発表に、会場は水を打ったようになった。
3. 彼は水を打ったような顔をして、何も言わなかった。
4. 水を打ったような騒ぎで、近所 迷惑になっている。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント3

配布番号

問1 会議中に隣の同僚が（　）を引いて、私に合図した。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 襟
2. 帯
3. 裾
4. 袖

問2 「腕に覚えがある」の意味はどれですか？

1. 自分の技術や能力に自信がある
2. 体の一部に傷跡が残っている
3. 過去の経験をよく記憶している
4. 手先が器用で何でも作れる

問3 彼女は（　）が軽く、誘えばすぐに遊びに来る。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 尻
2. 手
3. 膝
4. 肩

問4 「歯が浮く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 歯が浮くほど一生懸命に勉強して、試験に合格した。
2. ドラマのキザなセリフを聞いて、思わず歯が浮く思いがした。
3. 宝くじが当たって、嬉しさのあまり歯が浮いてしまった。
4. 彼は歯が浮くような硬いパンを食べて、歯を痛めた。

問5 「腰砕け」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 重い荷物を持って歩いていたら、腰砕けになってしまった。
2. 意気揚々と議論を始めたが、反論されて腰砕けになった。
3. 腰砕けの椅子に座ると、姿勢が悪くなるので注意が必要だ。
4. 転んで腰砕けになり、病院へ運ばれた。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント4

配布番号

問1 才能ある若者の（　）を摘むような発言は慎むべきだ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 根
2. 葉
3. 花
4. 芽

問2 「見得を切る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 見た目を良く見せようと、無理をして高級な服を買って見得を切った。
2. テストで悪い点を取ってしまい、お母さんの前で見得を切った。
3. 相手の親切な気持ちを断ってしまい、見得を切った。
4. 役者が舞台 中央で力強く見得を切る姿に圧倒された。

問3 「肝が据わる」の意味はどれですか？

1. 物事に動じず、度胸がすわっている
2. 非常に驚いて、心臓が止まりそうになる
3. 物事の核心を理解して、落ち着きを取り戻す
4. 怒りが頂点に達して、冷静さを失う

問4 「面目を失う」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 面目を失うほど、彼は鏡を見て自分の顔を確認した。
2. 新しい企画が成功し、彼はすっかり面目を失った。
3. 彼は長年の努力が報われ、ようやく面目を失った。
4. 部下の不祥事により、責任者である彼は面目を失った。

問5 「猿芝居」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. プロの役者による猿芝居は、非常に見応えがあった。
2. 彼らの見え透いた猿芝居には、誰も騙されなかった。
3. 舞台の上で猿芝居を披露し、拍手喝采を浴びた。
4. 動物園で猿芝居を演じて、観客を大いに喜ばせた。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント5

配布番号

問1　「気が気でない」の意味はどれですか？

1. 期待で胸がいっぱいになり、興奮していること
2. 心配や不安で落ち着かない気持ちであること
3. 自分の考えがまとまらず、混乱していること
4. 何かに夢中になりすぎて、周囲が見えないこと

問2　「目がくらむ」の意味はどれですか？

1. あまりの美しさに心を奪われて動けなくなる
2. 欲望や強い刺激で正常な判断ができなくなる
3. 疲れがたまって、何もする気が起きなくなる
4. 急におどろいて、その場で目を丸くして固まる

問3　「息を凝らす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 物陰から獲物を狙うため、息を凝らした。
2. 息を凝らして大きな声で歌を歌った。
3. 息を凝らして肺の空気をすべて出した。
4. 息を凝らして激しく運動をした。

問4　「頭が上がらない」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. かけっこで勝って、自信がついて頭が上がらない。
2. 弟より背が高いので、弟には頭が上がらない。
3. 恩人に対しては一生　頭が上がらない。
4. 重い荷物を持ちすぎて頭が上がらない。

問5　あまりの作業量に（　）が遠くなる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 気
2. 目
3. 耳
4. 鼻

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント6

配布番号

問1　親の期待を裏切り、世間に（　）向けできない。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 顔
2. 目
3. 鼻
4. 口

問2　「胸算用」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 胸算用が外れて、健康診断の結果が悪かった。
2. 会議で胸算用を披露し、全員の賛同を得ることができた。
3. 今月の売上を胸算用して、新しい備品を買う計画を立てた。
4. 彼は胸算用が激しく、いつも周囲の人を困らせている。

問3　「肩透かしを食う」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 重い荷物を持ち上げようとして肩透かしを食った。
2. マッサージ店で肩透かしを食って、肩が軽くなった。
3. 肩透かしを食うような服を着てパーティーに出た。
4. 強敵だと思っていたが、あっさり勝って肩透かしを食った。

問4　「釘を刺す」の意味はどれですか？

1. 物事の決定を急いで確定させること
2. 後で問題が起きないように、あらかじめ念を押しておくこと
3. 相手を厳しく叱って反省させること
4. 相手の意見を真っ向から否定すること

問5　「口を尖らせる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 笛を吹くために、彼は器用に口を尖らせた。
2. 彼は鋭い意見を言うために口を尖らせて話した。
3. 母に注意され、彼は不満そうに口を尖らせた。
4. 寒さのあまり、彼は震えながら口を尖らせた。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント7

配布番号

問1　「白を切る」の意味はどれですか？

1. 自分の非を認めて謝罪する
2. 嘘をついて相手をだます
3. 知っていることを知らないふりをする
4. 関係を断ち切って縁を切る

問2　長年のライバルに勝利し、ようやく（　）を下げることができた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 胃液
2. 溜飲
3. 胆汁
4. 唾液

問3　「水を打ったよう」の意味はどれですか？

1. 大勢の人が急に静まり返る様子
2. たくさんの人が一斉に騒ぎ出す様子
3. 雨が降って地面が濡れている様子
4. 冷たい水で顔を洗ってさっぱりする様子

問4　「尻が軽い」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は尻が軽いので、重い荷物を運ぶのが得意だ。
2. あの子は尻が軽いから、誘えばすぐに来てくれるよ。
3. ダイエットをして尻が軽くなった気がする。
4. 尻が軽い椅子に座ると、安定しなくて疲れる。

問5　（　）を開いて語り合うことで誤解が解けた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 胸襟
2. 襟元
3. 胸中
4. 心頭

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント8

配布番号

問1　「息を殺す」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 息を殺して肺活量を鍛える訓練をした。
2. 息を殺して全力で走り抜けた。
3. 犯人に見つからないよう息を殺した。
4. 息を殺して大声で笑い転げた。

問2　思い通りにならず（　）を尖らせる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 耳
2. 目
3. 口
4. 鼻

問3　この町に（　）を埋めるつもりで移住してきた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 骨
2. 首
3. 手
4. 足

問4　「袖を引く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 袖を引くほど、服のサイズが合わなくなった。
2. 袖を引いて、重い荷物を運ぶ手伝いをした。
3. 黙っている私に、友人が袖を引いて合図した。
4. 寒かったので、コートの袖を引いて伸ばした。

問5　あまりの絶景に（　）を呑んだ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 口
2. 目
3. 耳
4. 息

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント9

配布番号

問1　「手前味噌」の意味はどれですか？

1. 自分の失敗を隠すこと
2. 他人の作ったものを評価すること
3. 身内を厳しく批判すること
4. 自分で自分のことを褒めること

問2　「頭打ちになる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 天井が低すぎて、背の高い彼は頭打ちになった。
2. 工事現場でヘルメットを被らず、頭打ちになって怪我をした。
3. 高いジャンプをして、頭打ちにならないように注意する。
4. 新製品の販売数が伸び悩み、頭打ちになった。

問3　「身の置き所がない」の意味はどれですか？

1. 自分の家がなくて困っている
2. 恥ずかしさや居心地の悪さで困る
3. 座る場所がなくて困っている
4. どこへ行っても仕事が見つからない

問4　「袋小路に入る」の意味はどれですか？

1. 狭い道に迷い込んで出られなくなること
2. 計画が順調に進み、最終　段階に入ること
3. 行き詰まって、それ以上　進展しなくなること
4. 秘密の場所へ隠れて身を潜めること

問5　料理には（　）に覚えがある。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 指
2. 腕
3. 肘
4. 肩

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント10

配布番号

問1　「腹を割る」の意味はどれですか？

1. 自分の非を認めて相手に深く謝罪する
2. 隠し事をせず、ありのままの気持ちを打ち明ける
3. 相手の弱みにつけ込んで無理 難題を押し付ける
4. 決死の覚悟で困難な状況に立ち向かう

問2　「手綱を引く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 手綱を引いて、馬を速く走らせるように指示を出した。
2. 馬に乗るために、まずは馬の顔の横で手綱を引いた。
3. 重い荷物を運ぶために、ロープで手綱を引いて歩いた。
4. プロジェクトの進捗が乱れぬよう、リーダーが手綱を引く。

問3　大金に（　）がくらんで、悪いことだと分かっていても手を出した。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 目
2. 口
3. 耳
4. 鼻

問4　相手の話に（　）を打って聞く。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 相槌
2. 拍子
3. 鐘
4. 太鼓

問5　（　）に余る光栄なお言葉をいただき、感謝いたします。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 身
2. 目
3. 気
4. 心

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント11

配布番号

問1　「身につまされる」の意味はどれですか？

1. 他人の不幸や苦しみを、自分のことのように感じて切なくなる
2. 他人の厳しい状況を目の当たりにして、同情の念を抱く
3. 他人の苦労話を聞いて、自分の過去の失敗を思い出し恥ずかしくなる
4. 他人の失敗を見て、自分も同じ目に遭うのではないかと不安になる

問2　「眉に唾をつける」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 眉に唾をつけると、魔除けになると信じている。
2. 眉に唾をつけても、なかなか嘘は見抜けなかった。
3. 彼は眉に唾をつけて、鏡の前で身だしなみを整えた。
4. 怪しい勧誘には、眉に唾をつけて対応した。

問3　「熱を上げる」の意味はどれですか？

1. ある物事に夢中になってのめり込む
2. 仕事の効率を上げるために努力する
3. 体温が上昇して高熱が出る
4. 怒りで感情が激しく高ぶる

問4　「気を利かす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼が気を利かせて、窓を開けて換気をしてくれた。
2. 会議中に気を利かして、大きな声で笑い出した。
3. 気を利かして、自分の意見をはっきりと主張した。
4. 彼は気を利かして、わざと難しい問題を出題した。

問5　「白を切る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 心当たりがあるはずなのに、彼はとぼけて白を切った。
2. 彼は白を切るのが得意で、いつも正直に話してくれる。
3. 白を切ることで、ようやく真実を話す決心がついた。
4. 白い紙をハサミで白を切る作業は、とても難しい。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント12

配布番号

問1　「身を寄せる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 家を失った被災者は、避難所に身を寄せている。
2. ダンスの練習で、パートナーに身を寄せて踊る。
3. 寒かったので、ストーブの近くに身を寄せた。
4. 満員電車で、乗客同士が互いに身を寄せ合っている。

問2　「面目を施す」の意味はどれですか？

1. 名誉を保つ、または面目を立てる
2. 周囲の期待に反して、失敗を繰り返す
3. 世間に対して恥をかき、立場を悪くする
4. 自分の能力を最大限に発揮して注目される

問3　慣用句「袋小路に入る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 議論が袋小路に入り、結論が出ないまま終わった。
2. おなかがすいたので袋小路に入ってご飯を食べた。
3. 袋小路に入って、テストで満点を取った。
4. 運動不足を解消するために袋小路に入って走った。

問4　「腑に落ちない」の意味はどれですか？

1. 物事の核心を突いて相手を動揺させる
2. 深く感動して涙がこぼれ落ちる
3. 納得がいかず、合点がいかない
4. ひどく驚いて心臓が止まりそうになる

問5　「筆が立つ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は非常に筆が立つので、素晴らしい随筆を書いた。
2. 筆が立つほど、彼は文章を書くのが苦手だ。
3. 習字の授業で、先生に筆が立つと褒められた。
4. 筆が立つので、机の上に立てて収納しておいた。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント13

配布番号

問1　「目をかすめる」の意味はどれですか？

1. 相手の目をじっと見て、嘘を見抜こうとする
2. まぶしい光を見て、思わず目を閉じてしまう
3. 人の見ていない隙を見て、隠れて何かをする
4. 非常に素早い動きで、相手の視界から消える

問2　「一杯食わす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 一杯食わすのは大変だが、とても美味しい料理だ。
2. お腹が空いたので、友人に一杯食わしてもらった。
3. 一杯食わすために、大きな器を用意した。
4. 偽の情報を流して、相手に一杯食わした。

問3　「胸襟を開く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は胸襟を開いて、新しい服を買いに出かけた。
2. 胸襟を開いて座ると、背筋が伸びて姿勢が良くなる。
3. 長年の確執があったが、ようやく胸襟を開いて対話できた。
4. 寒かったので、コートの胸襟を開いて風を通した。

問4　「眉をひそめる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 眉をひそめて、遠くの景色をじっくりと眺めた。
2. 眉をひそめるほど、その料理はとても辛かった。
3. 彼は眉をひそめて、鏡で自分の顔をチェックした。
4. 身勝手な振る舞いに、多くの人が眉をひそめた。

問5　「威勢がいい」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 威勢がいいので、すぐに病気になった。
2. 威勢がいいエンジン音が、遠くから聞こえる。
3. 威勢がいいから、もっと静かに歩いてください。
4. 祭りの掛け声が響き、威勢がいい。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント14

配布番号

問1　「槍玉に挙げる」の意味はどれですか？

1. 物事の核心 部分を鋭く指摘して解決する
2. 多くの候補の中から一人を厳選して選ぶ
3. ある人を非難や攻撃の対象として取り上げる
4. 特定の人物を高く評価して表彰する

問2　（　）を利かせて飲み物を追加する。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 目
2. 耳
3. 鼻
4. 気

問3　「息を呑む」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 風邪をひいて息を呑むのがつらい。
2. あまりの美しさに、思わず息を呑んだ。
3. 深呼吸をして息を呑む準備をする。
4. マラソンで息を呑んで走った。

問4　長年　修行を積んだ彼の所作は、まさに（　）に入っている。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 堂
2. 門
3. 庭
4. 家

問5　交渉は（　）小路に入り、解決の糸口が見えない。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 箱
2. 袋
3. 籠
4. 筒

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント15

配布番号

問1　重要な会議で（　）の外に置かれた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 雨戸
2. 網戸
3. 蚊帳
4. 障子

問2　「溜飲を下げる」の意味はどれですか？

1. 長年抱えていた悩みや苦しみを他人に打ち明けて心を軽くする
2. 不平や不満を解消して、胸のつかえが取れてすっきりした気分になる
3. 自分の地位や名誉を誇示して、周囲から羨望の眼差しを受ける
4. 自分の過ちを認めて、相手に対して心から謝罪し反省する

問3　「肩を貸す」の意味はどれですか？

1. 相手の失敗を、みんなの前で厳しく責めて反省させる
2. 自分の荷物を相手に持たせて、自分だけ楽をしようとする
3. 重い荷物を持つのを手伝うなど、困っている相手を助ける
4. 相手と競い合って、自分のほうが上だと見せつける

問4　「見栄を張る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼女は人前で見栄を張って、大きな声で挨拶をした。
2. 本当は余裕がないのに、見栄を張って高級店で食事をした。
3. 見栄を張るために、毎日欠かさず鏡を見て髪を整える。
4. 彼は見栄を張って、壁に大きなポスターを貼り付けた。

問5　「耳目を集める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 騒がしい会場で、私は耳目を集めて静かにするように言った。
2. 耳目を集めるために、私は耳と目を洗って準備をした。
3. 彼は耳目を集めるのが得意で、いつも大きな声で話す。
4. その斬新なデザインは、発表と同時に世間の耳目を集めた。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント16

配布番号

問1　「耳朶（じだ）に触れる」の意味はどれですか？

1. 耳が痛くなるほど説教を聞く
2. ある事柄を耳にする、聞き知る
3. 相手の耳元で内緒話をする
4. 他人の意見を無視して聞かない

問2　「腕 自慢」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 腕 自慢の料理人たちが、とっておきのレシピを披露し合った。
2. 彼女は腕 自慢の持ち主で、いつも高価な時計を身につけている。
3. 彼は腕 自慢なので、寒い日でもいつも長袖の服ばかり着ている。
4. 腕 自慢の私は、毎日 欠かさず腕を洗って清潔に保った。

問3　「歯牙にもかけぬ」の意味はどれですか？

1. 相手を問題にせず、無視すること
2. 相手の言葉を信じず、疑うこと
3. 相手を過大 評価して恐れること
4. 相手を深く恨み、復讐を誓うこと

問4　売上が（　）打ちになり、対策を練る。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 頭
2. 肩
3. 腕
4. 足

問5　「眼鏡に（　）」の（　）に入る言葉はどれですか？

1. かなう
2. 似合う
3. 合う
4. 通る

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント17

配布番号

問1 厳格な会議の空気に（　）が詰まる思いだった。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 鼻
2. 目
3. 息
4. 喉

問2 相手の（　）をかいて、勝利を収めた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 表
2. 裏
3. 角
4. 横

問3 過去の不祥事が現在の経営に（　）を落としている。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 影
2. 跡
3. 色
4. 光

問4 「舌鼓を打つ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 舌鼓を打って料理を急いでかきこんだ。
2. 太鼓の音に合わせて舌鼓を打つ。
3. 旅先で地元の名物料理に舌鼓を打つ。
4. 寒い朝に、舌鼓を打ってマラソンを走った。

問5 「後手に回る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 後手に回るようにして、両手を背中の後ろでしっかりと組んだ。
2. 対策が後手に回ったせいで、被害を最小限に抑えられなかった。
3. 犯人を捕まえるために、警察は犯人の後手に回って追跡した。
4. 彼は後手に回るのが得意で、いつも最後から順番に作業する。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント18

配布番号

問1 人の意見の（　）馬に乗るようなことはやめよう。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 首
2. 背
3. 尻
4. 腹

問2 不正な行いをして（　）指を指される。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 中
2. 横
3. 後ろ
4. 前

問3 「威勢がいい」の意味はどれですか？

1. 元気で活気があり、勢いが盛んである
2. 非常に強気で、誰に対しても反抗的である
3. 態度が大きく、他人を威圧する様子である
4. 声が大きく、周囲を驚かせる様子である

問4 「見る目がある」の意味はどれですか？

1. 物事の良し悪しや価値を正しく判断する能力がある
2. 人の性格を瞬時に見抜くことができる
3. 遠くのものまでよく見える視力を持っている
4. 流行に敏感で、常に新しいものを取り入れる

問5 「肝が据わる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 肝が据わっている料理は、とても味が染み込んでいる。
2. 肝が据わっているから、毎日 健康のために運動する。
3. 肝が据わっている人は、すぐに病院へ行くべきだ。
4. どんな難局でも冷静な彼女は、本当に肝が据わっている。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント19

配布番号

問1　給料は上がるが転勤も伴うという、（　）しかゆしの状況だ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 痛
2. 寂
3. 苦
4. 悲

問2　「身を引く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は重い荷物を運ぶために、ロープを使って身を引いた。
2. 狭い通路で通行人のために、壁際まで身を引いた。
3. 綱引き大会で、チーム全員が力を合わせて身を引いた。
4. 若手にチャンスを与えるため、ベテランの彼は身を引く決意をした。

問3　「気を回す」の意味はどれですか？

1. 物事の成り行きを注意 深く観察すること
2. 周囲の状況に合わせて、自分の考えを変えること
3. 相手の気持ちを察して、先回りして行動すること
4. あれこれと推測して、余計なことまで考えること

問4　「穴を埋める」の意味はどれですか？

1. 欠員や不足分を補って、全体の状態を元通りにする
2. 空席をわざと作っておき、後から適任者を配置する
3. 秘密にしていた過去の出来事を、誰にも言わず葬る
4. 失敗してできた損害を、自分の責任で隠し通す

問5　「肝をつぶす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 悪口を言われて、怒って肝をつぶした。
2. 包丁で肝をつぶして調理した。
3. 約束を忘れて、深く反省して肝をつぶした。
4. 突然の雷鳴に肝をつぶした。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント20

配布番号

問1　言い訳が通用せず、すっかり立つ（　）がない。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 瀬
2. 場
3. 足
4. 道

問2　パーティーに音楽が（　）を添える。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 風
2. 光
3. 音
4. 花

問3　「折に触れる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 折に触れると痛むので、骨折した箇所を固定する。
2. 花瓶が折に触れて、床に落ちて割れた。
3. 木の枝が折に触れて、服に引っかかった。
4. 折に触れて、昔の友人のことを思い出す。

問4　「尻馬に乗る」の意味はどれですか？

1. 他人の失敗を笑って、自分だけ得をする
2. 他人の言動に便乗して、自分も同じような振る舞いをする
3. 他人の意見を無視して、自分の主張を押し通す
4. 馬の後ろに乗って、目的地まで運んでもらう

問5　「顔に泥を塗る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 不祥事を起こして、親の顔に泥を塗るようなことをした。
2. 顔に泥を塗るようにメイクをして、パーティーに出かけた。
3. 日焼け予防のために顔に泥を塗って作業した。
4. 顔に泥を塗るくらい、毎日 休まず努力を重ねた。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)大きな文字プリント1　答え合わせ

問1　答え 2　肩

「肩を貸す」の「肩」が入ります。重い荷物を持つのを手伝うなど、困っている相手を助けるという意味の慣用句です。

問2　答え 2　逃げ

「逃げ口上」の「逃げ」の部分が入ります。 意味は「追及を逃れるために言う、言い訳やごまかしの言葉」です。

問3　答え 2　前任者や他人の失敗と同じ失敗を繰り返す

「二の舞を演じる」は「前任者や他人の失敗と同じ失敗を繰り返す」という意味です。

問4　答え 1　文章を書く能力が優れている

「筆が立つ」は「文章を書く能力が優れている」という意味です。

問5　答え 2　緊張や重苦しい雰囲気で、心理的に圧迫 感を感じる

「息が詰まる」は「緊張や重苦しい雰囲気で、心理的に圧迫 感を感じる」という意味です。

慣用句(上級)大きな文字プリント2　答え合わせ

問1　答え 3　議論が尻切れとんぼのまま解散してしまった。

「尻切れとんぼ」の正しい使い方は「議論が尻切れとんぼのまま解散してしまった。」です。 意味は「物事が途中で中途半端に終わってしまうこと」です。

問2　答え 4　プロジェクトを成功させ、彼はようやく面目を施した。

「面目を施す」の正しい使い方は「プロジェクトを成功させ、彼はようやく面目を施した。」です。 意味は「名誉を保つ、または面目を立てる」です。

問3　答え 2　ある事柄が後まで悪い影響を及ぼすこと

「影を落とす」は「ある事柄が後まで悪い影響を及ぼすこと」という意味です。

問4　答え 2　友人に嘘をついてしまい、どうにも気が咎める。

「気が咎める」の正しい使い方は「友人に嘘をついてしまい、どうにも気が咎める。」です。 意味は「自分のしたことに対して良心が痛み、後ろめたい気持ちになること」です。

問5　答え 2　突然の発表に、会場は水を打ったようになった。

「水を打ったよう」の正しい使い方は「突然の発表に、会場は水を打ったようになった。」です。 意味は「大勢の人が急に静まり返る様子」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント3　答え合わせ

問1　答え 4　袖

「袖を引く」の「袖」の部分が入ります。 意味は「人に合図をしたり、注意を促したりする」です。

問2　答え 1　自分の技術や能力に自信がある

「腕に覚えがある」は「自分の技術や能力に自信がある」という意味です。

問3　答え 1　尻

「尻が軽い」の「尻」が入ります。誘われるとすぐに出かけたり、行動に移したりすることを表します。

問4　答え 2　ドラマのキザなセリフを聞いて、思わず歯が浮く思いがした。

「歯が浮く」の正しい使い方は「ドラマのキザなセリフを聞いて、思わず歯が浮く思いがした。」です。軽薄なお世辞やキザな言動を聞いて、気恥ずかしくなる様子を表します。なお、酸っぱいものを食べたときなどに歯の根が浮いたように感じる生理的な現象を表すこともあります。

問5　答え 2　意気揚々と議論を始めたが、反論されて腰砕けになった。

「腰砕け」の正しい使い方は「意気揚々と議論を始めたが、反論されて腰砕けになった。」です。 意味は「勢いよく始めたことが、途中で弱まってしまうこと」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント4　　答え合わせ

問1　答え 4　芽

「芽を摘む」の「芽」の部分が入ります。 意味は「将来の可能性や発展の芽を早い段階で取り除く」です。

問2　答え 4　役者が舞台 中央で力強く見得を切る姿に圧倒された。

「見得を切る」の正しい使い方は「役者が舞台 中央で力強く見得を切る姿に圧倒された。」です。歌舞伎などで、感情が高まった時に動きを止めてポーズをとることを指します（比喩的に大げさな態度や決意を示す意味でも使われます）。見た目を良く見せようとするのは「見栄（みえ）を張る」と言います。

問3　答え 1　物事に動じず、度胸がすわっている

「肝が据わる」は「物事に動じず、度胸がすわっている」という意味です。

問4　答え 4　部下の不祥事により、責任者である彼は面目を失った。

「面目を失う」の正しい使い方は「部下の不祥事により、責任者である彼は面目を失った。」です。 意味は「世間に対する名誉や体面を傷つけられる」です。

問5　答え 2　彼らの見え透いた猿芝居には、誰も騙されなかった。

「猿芝居」の正しい使い方は「彼らの見え透いた猿芝居には、誰も騙されなかった。」です。 意味は「見え透いた下手な策略や、わざとらしい振る舞い」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント5　答え合わせ

問1　答え 2　心配や不安で落ち着かない気持ちであること

「気が気でない」は「心配や不安で落ち着かない気持ちであること」という意味です。

問2　答え 2　欲望や強い刺激で正常な判断ができなくなる

「目がくらむ」は「欲望や強い刺激で正常な判断ができなくなる」という意味です。

問3　答え 1　物陰から獲物を狙うため、息を凝らした。

「息を凝らす」の正しい使い方は「物陰から獲物を狙うため、息を凝らした。」です。 意味は「呼吸の音さえさせないようにして、神経を集中させる」です。

問4　答え 3　恩人に対しては一生　頭が上がらない。

「頭が上がらない」は、相手に頭が上がらない（恩義や引け目があって対等に振る舞えない）という意味で使います。

問5　答え 1　気

「気が遠くなる」の「気」の部分が入ります。 意味は「意識が薄れていくような感覚になること」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント6　　答え合わせ

問1　答え 1　顔

「顔向けできない」の「顔」が入ります。意味は、申し訳なさや恥ずかしさから、相手に会うことができない（合わせる顔がない）ということです。

問2　答え 3　今月の売上を胸算用して、新しい備品を買う計画を立てた。

「胸算用」の正しい使い方は「今月の売上を胸算用して、新しい備品を買う計画を立てた。」です。 意味は「心の中で収支や見通しを計算すること」です。

問3　答え 4　強敵だと思っていたが、あっさり勝って肩透かしを食った。

「肩透かしを食う」の正しい使い方は「強敵だと思っていたが、あっさり勝って肩透かしを食った。」です。「肩透かしを食う」は、相手に意気込みを巧みにそらされたり、当てが外れたりして拍子 抜けすることを意味します。

問4　答え 2　後で問題が起きないように、あらかじめ念を押しておくこと

「釘を刺す」は「後で問題が起きないように、あらかじめ念を押しておくこと」という意味です。

問5　答え 3　母に注意され、彼は不満そうに口を尖らせた。

「口を尖らせる」の正しい使い方は「母に注意され、彼は不満そうに口を尖らせた。」です。 意味は「不満や不機嫌な気持ちを顔に出す」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント7　答え合わせ

問1　答え 3　知っていることを知らないふりをする

「白を切る」は「知っていることを知らないふりをする」という意味です。

問2　答え 2　溜飲

「溜飲を下げる」の「溜飲」の部分が入ります。 意味は「不平や不満を解消して、胸のつかえが取れてすっきりした気分になる」です。

問3　答え 1　大勢の人が急に静まり返る様子

「水を打ったよう」は「大勢の人が急に静まり返る様子」という意味です。

問4　答え 2　あの子は尻が軽いから、誘えばすぐに来てくれるよ。

「尻が軽い」の正しい使い方は「あの子は尻が軽いから、誘えばすぐに来てくれるよ。」です。 意味は「誘われるとすぐに出かけたり、行動に移したりすること」です。

問5　答え 1　胸襟

「胸襟を開く（きょうきんをひらく）」が入ります。意味は「心を開いて、隠し立てせずに打ち明ける」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント8　答え合わせ

問1　答え 3　犯人に見つからないよう息を殺した。

「息を殺す」の正しい使い方は「犯人に見つからないよう息を殺した。」です。 意味は「呼吸の音を立てないようにして、じっと静かにしている」です。

問2　答え 3　口

「口を尖らせる」の「口」の部分が入ります。 意味は「不満や不機嫌な気持ちを顔に出す」です。

問3　答え 1　骨

「骨を埋める」の「骨」の部分が入ります。 意味は「その土地や仕事に一生を捧げる覚悟で定住すること」です。

問4　答え 3　黙っている私に、友人が袖を引いて合図した。

「袖を引く」の正しい使い方は「黙っている私に、友人が袖を引いて合図した。」です。 意味は「人に合図をしたり、注意を促したりする」です。

問5　答え 4　息

「息を呑む」の「息」の部分が入ります。 意味は「驚きや感動などで、一瞬　呼吸を止めるほど緊張する」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント9　答え合わせ

問1　答え 4　自分で自分のことを褒めること

「手前味噌」は「自分で自分のことを褒めること」という意味です。

問2　答え 4　新製品の販売数が伸び悩み、頭打ちになった。

「頭打ちになる」の正しい使い方は「新製品の販売数が伸び悩み、頭打ちになった。」です。 意味は「物事の成長や上昇が限界に達し、それ以上 伸びなくなる」です。

問3　答え 2　恥ずかしさや居心地の悪さで困る

「身の置き所がない」は「恥ずかしさや居心地の悪さで困る」という意味です。

問4　答え 3　行き詰まって、それ以上 進展しなくなること

「袋小路に入る」は「行き詰まって、それ以上 進展しなくなること」という意味です。

問5　答え 2　腕

「腕に覚えがある」の「腕」の部分が入ります。 意味は「自分の技術や能力に自信がある」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント10　　答え合わせ

問1　答え 2　隠し事をせず、ありのままの気持ちを打ち明ける

「腹を割る」は「隠し事をせず、ありのままの気持ちを打ち明ける」という意味です。

問2　答え 4　プロジェクトの進捗が乱れぬよう、リーダーが手綱を引く。

「手綱を引く」の正しい使い方は「プロジェクトの進捗が乱れぬよう、リーダーが手綱を引く。」です。 意味は「相手を厳しく管理したり、勢いを抑えたりして統制する」です。

問3　答え 1　目

「目がくらむ」の「目」が入ります。意味は、欲望や強い刺激で正常な判断ができなくなることです。

問4　答え 1　相槌

「相槌を打つ」の「相槌」の部分が入ります。 意味は「相手の話に合わせて、調子を合わせてうなずく」です。

問5　答え 1　身

「身に余る」の「身」の部分が入ります。 意味は「自分にはもったいないほどである」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント11　　答え合わせ

問1　答え 1　他人の不幸や苦しみを、自分のことのように感じて切なくなる

「身につまされる」は「他人の不幸や苦しみを、自分のことのように感じて切なくなる」という意味です。

問2　答え 4　怪しい勧誘には、眉に唾をつけて対応した。

「眉に唾をつける」の正しい使い方は「怪しい勧誘には、眉に唾をつけて対応した。」です。 意味は「だまされないように用心する」です。

問3　答え 1　ある物事に夢中になってのめり込む

「熱を上げる」は「ある物事に夢中になってのめり込む」という意味です。

問4　答え 1　彼が気を利かせて、窓を開けて換気をしてくれた。

「気を利かす」の正しい使い方は「彼が気を利かせて、窓を開けて換気をしてくれた。」です。 意味は「相手の気持ちやその場の状況を察して、気の利いた行動をとること」です。

問5　答え 1　心当たりがあるはずなのに、彼はとぼけて白を切った。

「白を切る」の正しい使い方は「心当たりがあるはずなのに、彼はとぼけて白を切った。」です。 意味は「知っていることを知らないふりをする」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント12　答え合わせ

問1　答え 1　家を失った被災者は、避難所に身を寄せている。

「身を寄せる」の正しい使い方は「家を失った被災者は、避難所に身を寄せている。」です。意味は「他人に頼ったり、世話になる場所に身を置く」ことです。物理的に体を近づけるときは「体を寄せる」などと言います。

問2　答え 1　名誉を保つ、または面目を立てる

「面目を施す」は「名誉を保つ、または面目を立てる」という意味です。

問3　答え 1　議論が袋小路に入り、結論が出ないまま終わった。

「袋小路に入る」は、「物事が行き詰まって、それ以上 進展しなくなる」という意味の慣用句です。実際の道のことではなく、議論や計画が進まなくなる様子を表します。

問4　答え 3　納得がいかず、合点がいかない

「腑に落ちない」は「納得がいかず、合点がいかない」という意味です。

問5　答え 1　彼は非常に筆が立つので、素晴らしい随筆を書いた。

「筆が立つ」の正しい使い方は「彼は非常に筆が立つので、素晴らしい随筆を書いた。」です。 意味は「文章を書く能力が優れている」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント13　　答え合わせ

問1　答え 3　人の見ていない隙を見て、隠れて何かをする

「目をかすめる」は「人の見ていない隙を見て、隠れて何かをする」という意味です。

問2　答え 4　偽の情報を流して、相手に一杯 食わした。

「一杯食わす」は「人をまんまとだます」「巧みにあざむく」という意味の慣用句です。実際に料理を食べさせる意味ではないため、「偽の情報を流して、相手に一杯 食わした。」が正しい使い方です。

問3　答え 3　長年の確執があったが、ようやく胸襟を開いて対話できた。

「胸襟を開く」の正しい使い方は「長年の確執があったが、ようやく胸襟を開いて対話できた。」です。 意味は「心を開いて、隠し立てせずに打ち明ける」です。

問4　答え 4　身勝手な振る舞いに、多くの人が眉をひそめた。

「眉をひそめる」の正しい使い方は「身勝手な振る舞いに、多くの人が眉をひそめた。」です。 意味は「不快感や心配事のために顔をしかめる」です。

問5　答え 4　祭りの掛け声が響き、威勢がいい。

「威勢がいい」の正しい使い方は「祭りの掛け声が響き、威勢がいい。」です。 意味は「元気で活気があり、勢いが盛んである」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント14　　答え合わせ

問1　答え 3　ある人を非難や攻撃の対象として取り上げる

「槍玉に挙げる」は「ある人を非難や攻撃の対象として取り上げる」という意味です。

問2　答え 4　気

「気を利かす」の「気」の部分が入ります。 意味は「相手の気持ちやその場の状況を察して、気の利いた行動をとること」です。

問3　答え 2　あまりの美しさに、思わず息を呑んだ。

「息を呑む」の正しい使い方は「あまりの美しさに、思わず息を呑んだ。」です。 意味は「驚きや感動などで、一瞬　呼吸を止めるほど緊張する」です。

問4　答え 1　堂

「堂に入る」の「堂」の部分が入ります。 意味は「学問や技芸などが十分に上達し、優れている」です。

問5　答え 2　袋

「袋小路に入る」の「袋」の部分が入ります。 意味は「行き詰まって、それ以上　進展しなくなること」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント15　答え合わせ

問1　答え 3　蚊帳

「蚊帳の外」の「蚊帳」の部分が入ります。 意味は「仲間はずれにされて、物事に関与できない状態にあること」です。

問2　答え 2　不平や不満を解消して、胸のつかえが取れてすっきりした気分になる

「溜飲を下げる」は「不平や不満を解消して、胸のつかえが取れてすっきりした気分になる」という意味です。

問3　答え 3　重い荷物を持つのを手伝うなど、困っている相手を助ける

「肩を貸す」は「重い荷物を持つのを手伝うなど、困っている相手を助ける」という意味です。

問4　答え 2　本当は余裕がないのに、見栄を張って高級　店で食事をした。

「見栄を張る」の正しい使い方は「本当は余裕がないのに、見栄を張って高級　店で食事をした。」です。 意味は「実際　以上に自分をよく見せようと振る舞う」です。

問5　答え 4　その斬新なデザインは、発表と同時に世間の耳目を集めた。

「耳目を集める」の正しい使い方は「その斬新なデザインは、発表と同時に世間の耳目を集めた。」です。 意味は「多くの人の関心や注目を集める」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント16　　答え合わせ

問1　答え 2　ある事柄を耳にする、聞き知る

「耳朶（じだ）に触れる」は「ある事柄を耳にする、聞き知る」という意味です。

問2　答え 1　腕 自慢の料理人たちが、とっておきのレシピを披露し合った。

「腕 自慢」は「腕力や技能に自信があること、またその人」という意味です。体の「腕」や、身につける「腕時計」そのものの意味ではないことに注意しましょう。

問3　答え 1　相手を問題にせず、無視すること

「歯牙にもかけぬ」は「相手を問題にせず、無視すること」という意味です。

問4　答え 1　頭

「頭打ちになる」の「頭」の部分が入ります。 意味は「物事の成長や上昇が限界に達し、それ以上 伸びなくなる」です。

問5　答え 1　かなう

「眼鏡にかなう」の「かなう」の部分が入ります。 意味は「目上の人から高く評価され、気に入られること」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント17　答え合わせ

問1　答え 3　息

「息が詰まる」の「息」の部分が入ります。 意味は「緊張や重苦しい雰囲気で、心理的に圧迫 感を感じる」です。

問2　答え 2　裏

「裏をかく」の「裏」の部分が入ります。 意味は「相手の予想を裏切るような行動をとって、出し抜くこと」です。

問3　答え 1　影

「影を落とす」の「影」の部分が入ります。 意味は「ある事柄が後まで悪い影響を及ぼすこと」です。

問4　答え 3　旅先で地元の名物　料理に舌鼓を打つ。

「舌鼓を打つ」の正しい使い方は「旅先で地元の名物　料理に舌鼓を打つ。」です。 意味は「美味しいものを食べて満足する」です。

問5　答え 2　対策が後手に回ったせいで、被害を最小限に抑えられなかった。

「後手に回る」の正しい使い方は「対策が後手に回ったせいで、被害を最小限に抑えられなかった。」です。 意味は「対応が遅れて、相手の動きに追従する形になる」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント18　　答え合わせ

問1　答え 3　尻

「尻馬に乗る」の「尻」が入ります。意味は、他人の言動に便乗して、自分も深く考えずに同じような振る舞いをすることです。

問2　答え 3　後ろ

「後ろ指を指される」の「後ろ」の部分が入ります。 意味は「陰で他人から非難されたり悪口を言われたりする」です。

問3　答え 1　元気で活気があり、勢いが盛んである

「威勢がいい」は「元気で活気があり、勢いが盛んである」という意味です。

問4　答え 1　物事の良し悪しや価値を正しく判断する能力がある

「見る目がある」は「物事の良し悪しや価値を正しく判断する能力がある」という意味です。

問5　答え 4　どんな難局でも冷静な彼女は、本当に肝が据わっている。

「肝が据わる」の正しい使い方は「どんな難局でも冷静な彼女は、本当に肝が据わっている。」です。 意味は「物事に動じず、度胸がすわっている」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント19　　答え合わせ

問1　答え 1　痛

「痛しかゆし」の「痛」の部分が入ります。 意味は「どちらとも決めかねて困る状態である」です。

問2　答え 4　若手にチャンスを与えるため、ベテランの彼は身を引く決意をした。

「身を引く」の正しい使い方は「若手にチャンスを与えるため、ベテランの彼は身を引く決意をした。」です。 意味は「地位や立場から退く、または関係を断つ」です。

問3　答え 4　あれこれと推測して、余計なことまで考えること

「気を回す」は「あれこれと推測して、余計なことまで考えること」という意味です。

問4　答え 1　欠員や不足 分を補って、全体の状態を元通りにする

「穴を埋める」は「欠員や不足 分を補って、全体の状態を元通りにする」という意味です。

問5　答え 4　突然の雷鳴に肝をつぶした。

「肝をつぶす」の正しい使い方は「突然の雷鳴に肝をつぶした。」です。意味は「非常に驚いて恐ろしくなること」です。

慣用句(上級)大きな文字プリント20　答え合わせ

問1　答え 1　瀬

「立つ瀬がない」の「瀬」が入ります。自分の立場が悪くなり、世間に対して面目が立たないようすを表す言葉です。

問2　答え 4　花

「花を添える」の「花」の部分が入ります。意味は「物事に華やかさや趣を加えて、より一層 引き立てる」です。

問3　答え 4　折に触れて、昔の友人のことを思い出す。

「折に触れる」の正しい使い方は「折に触れて、昔の友人のことを思い出す。」です。 意味は「機会があるごとに、その時々で」です。

問4　答え 2　他人の言動に便乗して、自分も同じような振る舞いをする

「尻馬に乗る」は「他人の言動に便乗して、自分も同じような振る舞いをする」という意味です。

問5　答え 1　不祥事を起こして、親の顔に泥を塗るようなことをした。

「顔に泥を塗る」の正しい使い方は「不祥事を起こして、親の顔に泥を塗るようなことをした。」です。意味は「恥をかかせて名誉を傷つける」です。